

平成 29 年度 第 4 回厚木市庁舎建設等検討委員会会議録

会議主管課	企画政策課
会議開催日時	平成 29 年 12 月 25 日（月）午後 3 時 30 分から 5 時まで
会議開催場所	市民交流プラザ（アミューあつぎ） 605 会議室
出席者	検討委員会委員 12 人 企画政策課長、建築課長、市街地整備課長、企画政策係長、 企画政策係主査
説明者	企画政策係長
傍聴者	あり（3 人）
公開日	平成 30 年 2 月 27 日

会議内容は、次のとおりです。

【第 4 回厚木市庁舎建設等検討委員会】

1 開会

2 案件

（1）新庁舎の建設候補地について

事務局 案件（1）新庁舎の建設候補地について説明。

委 員 そもそも、民有地を活用して庁舎を整備するパターンは、不
確実性が高いことから、候補から除外するべきではないか。
そのように考えると、新庁舎は何のために建て替えるのかを
考えなければならないだろう。

委 員 公共施設最適化検討委員会からの提言を受けて、本検討委員
会が設置され、これまで建設候補地について十分な議論を重ね
てきた。

現本庁舎敷地周辺（以下「現状地」という。）と中町第 2－2
地区周辺（以下「2－2」という。）を比較すると、客観的に 2
－2 がふさわしいのではないか。

4 回目となる会議で、文化会館南側を再検討するようでは、
議論が戻ってしまっているのではないか。

事務局 本検討委員会では、第 1 回会議で、文化会館南側について議
論をした上で、建設候補地を現状地と 2－2 に整理していただ
いた。

しかしながら、建設候補地については、本検討委員会以外か

らも様々な意見があり、今回、改めて文化会館南側についても、検討をいただいた。

委 員 市議会の了解がなければ、庁舎を移転することはできないのか。

事務局 庁舎を移転することになれば、最終的には市役所の位置を定める条例を改正することになるので、市議会の賛成は必要になる。

委 員 2－2の周辺道路整備計画をみると道路拡幅は確かに必要だと思うが、右折禁止などの通行規制によるソフト対応でも交通渋滞を緩和できる部分があるのではないか。

事務局 右折規制による交通渋滞対策は、警察とも協議している。また、本厚木停車場線（厚木なかちょう大通り）の信号を減らしていくことも検討している。

委 員 文化会館南側は、高齢化の問題だけを考えても、候補にはなり得ない。このことは既に本検討委員会で結論付けている。候補地になりうるのは、これまでのとおり、現状地か2－2の二者択一だろう。

2－2の周辺道路整備計画では、本厚木停車場線と酒井金田線を東西で結ぶ新規路線の整備が重要ではないか。当該路線が整備されるのであれば、候補地は2－2がよいのではないか。

事務局 事務局や道路部でも同じように考えている。県道と県道がつながれば、大きく変わるだろう。

委 員 2－2の交通渋滞は、数字と感覚は違うが、周辺道路整備計画が実現するのであれば、交通の問題は解決されるだろう。そうすると、候補地は2－2がよいのではないか。

委 員 市全体の公共施設の在り方を考えた上で、2－2は図書館とこども未来館の複合施設を中心とする整備コンセプトとしているのか。

そうであれば、2－2に庁舎を移転する場合は、図書館という情報発信施設の更新と併せて整備することができるということ进行全面に出したほうがよい。

事務局 本市全体の公共施設の在り方については、公共施設最適化基本計画という計画を定めている。庁舎についても、2－2の複合施設についても、当該計画との整合を考慮しながら、整備していく。

- 委員 事務局長 L字型の建物は、防災上問題はないのか。
破壊的な力を伝達させない役割を果たすエキスパンションジョイントを用いた建築や免震構造など、いろいろな工法があるので、L字型の建築物であっても、現在の技術では構造上の問題はないと考えられる。
- 委員 現状地の民有地を活用したパターンである例4か2-2が候補になると思う。具体的に絵を描いていったほうがよいのではないか。
- 委員 私も同じように思う。現状地と2-2の比較は十分してきた。これ以上の検討をしても、議論は深まらないだろう。
まずは、2-2を候補地として、どのような庁舎が建てられるのかを見てみれば、より具体的にイメージでき、議論が進むのではないか。
- 委員 常日頃から中心市街地の活性化を考えている。庁舎は、建物の優劣だけでなく、まち全体を考えて、どちらの候補地に庁舎があるとよいかを考えていく必要があるだろう。
- 委員 まち全体を考えることは重要である。比較検討すると2-2が候補地としてふさわしいとは思いますが、庁舎が抱える課題を2-2で解決できるのか、また、現状地を跡地としてどのように活用し、にぎわいを維持していくのかについても考えていく必要がある。
- 委員 2-2の最大の魅力は、図書館やこども未来館との複合施設と一緒になるということだろう。
庁舎が図書館や保健福祉センターと一緒にになると、市民にとってどのようなメリットがあるのかについて、分かりやすく伝えていく必要があるだろう。
- 委員長 委員各位の意見をまとめると、2-2を候補地として、今後の具体的な検討を進めるべきではないか、また、現状地の跡地活用についても並行して検討を進めるべきではないか、という意見が多いようなので、今後の進め方としては、2-2を候補地として、新庁舎の基本理念や機能などの在り方を具体的に検討していくこととしてよろしいか。また、併せて、まち全体のバランスを考慮し、現状地の活用についても検討していくこと

としてよろしいか。

全委員 異議なし

委員長 それでは、次回は、2－2を優先候補地として、現状地の跡地活用を含めて、具体的な検討を進めることとする。

3 その他

(1) 次回の検討委員会について

次回の検討委員会は2～3月に開催予定。

4 閉会